

-----10月1日-----

2018年

※ 今週のアウトルック (10/1~10/5)

先週はドル高がもう一段進む週となりました。

一方、クロス円は停滞気味から円高方向に切り返す通貨ペアが多くなりました。

今週は、ドル独歩高の状況がもう一步進むのか、それとも足踏み状態となるのか、そのあたりを見極める必要があります。

先週のドル円は、週末に114円付近までドル高が進みそのまま週末を迎えています。

今週は、115円付近のレジスタンスまでさらにドル高が進むのか、それとも一度足踏み状態となるのか、見極める必要がありますが、週末に米国雇用統計の発表を控えていることから、発表前は一度足踏み状態となる可能性が、やや高いように思います。

米国雇用統計発表後、良好な結果だった場合には115円付近までドル高が進む可能性が高まりそうですが、予想を裏切る様な結果だった場合には、一度112円台まで後退する可能性はありそうです。

ドル円の予想レンジは112円から115円です。

ユーロはドル高の勢いが強いため、既にユーロドルでは下落トレンド、あるいは1.15から1.18付近のレンジ入りした可能性が高まっています。

今週は、ユーロ円も132円台をキープできなければ130円、あるいは128円付近までの下落は避けられないかもしれません。

ユーロ円の予想レンジは128円から134円です。

ポンド円の150円付近のレジスタンスは意外と固いようです。

今週、ブレイクすることができなければ、一度145円あるいは143円付近まで後退する可能性が高まりそうです。

ポンド円の予想レンジは143円から153円です。

今週はドル高がどこまで続くのかに注目が集まる中、米国雇用統計の行方にも関心が強く集まりそうです。

ADP雇用統計などの結果が予想外に良かった場合などは、週末を待たずにもう一步ドル高に動き出す可能性もあるかもしれません。

免責事項

当レポートを参考にトレードを行い、損失が生じた場合でも、責任は負いかねますのでご了承ください。